

「手賀沼魚類・貝類・プランクトン調査」

手賀沼水生生物研究会

鈴木盛智

【2017年11月11日 魚類定量調査及び種類調査、プランクトン種類調査】



	親水広場桟橋	根戸新田	大津川河口ワンド	漁協前	片山新田	岩井新田
	9:15~9:30	10:06~10:36		12:30~13:00		14:45~15:15
モンドリ数	3	6	6	6 6		6
モンドリ	(15分)	(30分)	(30分)	(30分) (30分)		(30分)
		AYC 沼南園		AYC 沼南園		
	沖	岸	岸			
モツゴ	134		17	94	133	83
スジエビ	5		1			6
タイバラ			稚 2			
タモロコ				3	1	5
ヌマチチブ					1	
テナガ	1			1		
ツチフキ			4	1	3	
底質		砂地	軟泥			軟泥
水深		30cm	30cm		30~80cm	30~50cm
ガサガサ		6人:30分	4人:45分		4人:45分	4人:45分
ドブガイ生体			0	0		6 3

モンドリやガサガサの調査による手賀沼の水生生物の優先種はモツゴ、スジエビでこれは大変多い。タイリクバラタナゴは少なくなってきた。手賀沼大橋西側(上流)の二枚貝生息場所であったところでは、今回生体は発見できなかった。二枚貝は低密度の状態が続いている。



ハクレンのジャンプ

ドブガイ

*植物プランクトン：珪藻類が主体で、緑藻類、藍藻類いずれも割合は低い。

*動物プランクトン：原生動物は、鞭毛虫はいつもいるが、根足類（アメーバ等）がいくつか見られた。

繊毛虫は多くない。ワムシはドロワムシが80%ぐらいを占め数も多い。